

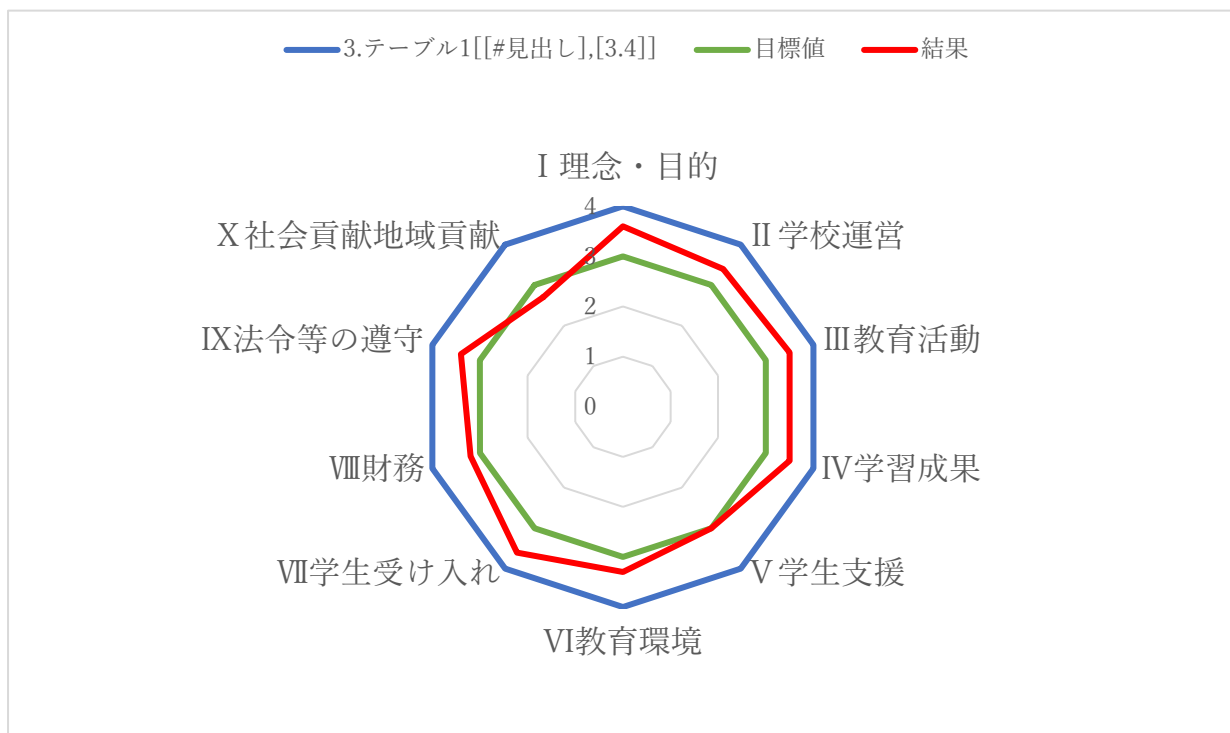
2023 年度 学校自己評価結果

評価基準 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

大項目評価

I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X
理念・目的・人材像	学校運営	教育活動	学習成果	学生支援	教育環境	学生受け入れ・募集	財務	法令等の遵守	社会貢献地域貢献
3.6	3.4	3.5	3.5	3.0	3.3	3.6	3.2	3.4	2.7

平均 3.3



教職員アンケート結果は平均 3.3 であり、ほぼ適切という評価であった。昨年と比較すると学校運営が 3.1 から 3.4 とわずかだが上昇した。他項目に関しては、昨年とほぼ同値である。運営方針や事業計画は作成しているが、情報共有が課題となった。教育環境で、今年度 1 年次から Ipad を導入しているが、活用方法について学生間でばらつきが見られた。早急な対応が必用である。3 年次の休学者が増え、学生支援への課題も残る。社会貢献・地域貢献 2.7 と平均を下回った。

大項目毎の自己評価と要約

I 理念・目的・育成人材像 3.6

1	理念・目的・人材像は、定められているか	3.8
2	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	3.6
3	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	3.5

4	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか。	3.5
---	--------------------------	-----

法人の理念・目的・育成人材像が成文化されており、教育理念・教育目的・教育目標にそった教育事業計画が作成されている。実習要綱やパンフレットなどにも明記されており、学生や保護者にも周知されている。次年度入学生の入学前学習会から、入学生や父兄に対しての説明を実施した。

II 運営方針 3.4

1	理念等に沿った運営方針を定めているか	3.5
2	理念等を達成するための事業計画を定めているか	3.6
3	設置法人は組織運営を適切に行っているか	3.6
4	学校運営のための組織を整備しているか	3.5
5	人事・給与に関する制度を整備しているか	3.0
6	意思決定システムを整備しているか	3.0
7	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	3.4

今年度から、法人全体の人事考課制度が本校もスタートする。適切な評価を行うことで職員のモチベーションを上げていきたい。意思決定システムについては、職員に対して規則・規定などの周知不足が考えられる。業務の効率化を目指し電子媒体の活用を進めている。特にアカデミックスの活用については、職員へ周知していく必要がある。

III 教育活動 3.5

1	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	3.7
2	学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	3.9
3	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	3.8
4	教育課程について、外部の意見を反映しているか	3.2
5	キャリア教育を実施しているか	3.4
6	授業評価を実施しているか	3.3
7	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	3.8
8	作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	3.0
9	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置付けているか	3.9
10	資格・免許取得の指導体制はあるか	3.8
11	資格・要件を備えた教員を確保しているか	3.5
12	教員の資質向上への取組を行っているか	3.4
13	教員の組織体制を整備しているか	3.4

教員の資質向上への取り組みとして、対面やリモート研修への参加を促した。しかし、臨地実習中は参加できない為、工夫が必用である。研究発表一演題、学会での報告一題実施できた。

IV 学習成果 3.5

1	就職率の向上が図られているか	3.6
2	資格・免許取得率の向上が図られているか	3.8
3	卒業生の社会的評価を把握しているか	3.0

就職に関する支援は、学校での説明会や情報提供、学生から希望があれば各施設へのエントリーシートの添削、面接練習など実施。就職は100%である。卒業生の評価に関して、就職先や卒業生自身からの個別報告はあるが、卒業生への調査は実施していない。

V 学生支援 3.0

1	就業等進路に関する支援組織体制を整備しているか	3.5
2	退学率の低減が図られているか	3.3
3	学生相談に関する体制を整備しているか	3.5
4	留学生に対する相談体制を整備しているか	2.1
5	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	3.6
6	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	3.6
7	学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	1.9
8	課外活動に対する支援体制を整備しているか	2.5
9	保護者との連携体制を構築しているか	3.4
10	卒業生への支援体制を整備しているか	2.8
11	産学連携による卒後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	2.8
12	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	3.5

退学者は低減できたが、3年次の休学者が増えた。学力低迷と臨地実習中の支援体制に課題が残る。留学生がいないこと、学生寮が無いということで低値になっている。課外活動は把握できていない。カミングスクールディは、ハイブリットで開催することができた。現在の卒業生の現状をお互いで確認しながら、意見交換できたのは良かった。産学連携に関して、実習施設との情報交換を検討していきたい。

VI 教育環境 3.3

1	教育上の必要性に十分対応した施設・整備・教育用具等を整備しているか	3.3
2	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	2.9
3	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3.5
4	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	3.5

教育上必要な施設・整備・教育用具等の整備に関しては、予算の状況を鑑みながら計画的に対応している。インターンシップや海外研修などは実施していない。

VII 学生の募集と受け入れ 3.6

1	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	3.6
2	学生募集活動を適切、かつ、効果的におこなっているか	3.7

3	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	3.7
4	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	3.4
5	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	3.5
6	入学辞退者に対し授業料等について適切な取り扱いを行っているか	3.4

入学志願者が減少している状況から、ガイダンスやオープンキャンパスなど積極的に取り組んだ。入学選考基準は、教員間で、面接評価基準の確認を行い、本校が求める学生の人選に教員全体で取り組んでいる。

VIII 財務 3.2

1	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	3.2
2	学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	3.2
3	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	3.2
4	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	3.2
5	私立学校法人及び寄付行為に基づき適切に監査を実施しているか	3.2
6	私立学校法人に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	3.0

財務に関しては、適切に整備・運営されている。教員の予算作成への参加方法を検討していきたい。

IX 法令等の遵守 3.4

1	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適切な学校運営を行っているか	3.6
2	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3.8
3	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	3.7
4	自己評価結果を公表しているか	3.1
5	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	3.2
6	学校関係者評価結果を公表しているか	3.1
7	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	3.6

自己評価や学校関係者評価項目の可視化や改善に向け継続的に取り組んでいきたい。

X 社会貢献・地域貢献 2.7

1	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.2
2	国際交流に取り組んでいるか	1.6
3	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	3.2

学園祭では、地域の方々を積極的に招聘し交流を深めることができた。国際交流に関する取組は行っていない。国際的視野を広げる教育は必要であり、内容や方法について検討していきたい。ボランティアに関することは、「ボランティア活動に関する規程」に定めている。活動の把握はできていない。